

専門書
行政・保健・
教育関係者、
研究機関向け

明治期の官立の体操伝習所閉所後、明治後半期の体操教員養成を担った日本体育会体操練習所関連書籍をここに網羅

体育・スポーツ書集成

民和文庫研究会編

企画・編集責任者

中村民雄（福島大学名誉教授）
石井隆憲（日本体育大学教授）

第IV回

明治期体操学校
体育・体操書

全六巻

日本体育会体操学校之跡

クレス出版

日本体育会発祥之地

体育・スポーツ書集成シリーズ 第IV回

明治期体操学校 体育・体操書（全六巻）の刊行について

民和文庫研究会代表（福島大学名誉教授） 中村 民雄

現在の学校体育は、「学習指導要領—保健体育編」に基づいて実施されている。そこで行われている運動の内容は、「体つくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」「武道」「ダンス」の七領域から成っている。この内容は、大正二（一九一三）年にわが国で初めて公布された「学校体操教授要目」にその原型が示されている。この教授要目では、「体操」「教練」「遊戯」「撃劍及柔術」の四領域（教材群）となっていたが、戦後の学習指導要領では「体操」が体操（のち「体つくり運動」）と「器械運動」になり、「教練」は廃止されが、「遊戯」は個人スポーツの「陸上競技」「水泳」、集団スポーツの「球技」に分かれた。また、女子の舞踊は「ダンス」に、「撃劍及柔術」は、昭和三三（一九五八）年に「格技」として復活し、平成元（一九八九）年以降は「武道」と改称された。

ところで、明治の学校体育・体操員養成は、明治二一（一八七八）年に体操伝習所が設立された時にはじまり、明治一八（一八八五）年に高等師範学校の附属となりその二年後に廃止されることにより、長い中断期を迎える。それを埋め合せたのが私立の体操学校である。明治二〇年前後にわかっているだけでも一〇校近くあるが、ここでは東京体操伝習所と日本体育会体操練習所（のち「体操学校」と改称）

の二校をとりあげ、その設立の経緯と活動の概要を紹介する。

明治三〇年代になると、日本体育会体操学校は国庫補助金（明治三二年から五年間）を請けることになり、教員養成のみならず、日本を代表する体育団体となつていった。前述した「学校体操教授要目」の作成にあたっては、スウェーデン体操を中心とした要目の作成と体操教員養成を行う学校として、明治後半から大正期にかけて学校体育をリードしていった。また、戦前の体育専門学校の活動とその概要を紹介し、外国人を招いての講演会を開催し、それらを講演集にまとめ刊行した。日本高等体育学校一覧（のち「東京体育専門学校」と改称）も併せて収録する。日本体育会は国庫補助金を活用して事業の拡大をかり、欧米の体育理論や体育事情を紹介し、外国人を招いての講演会を開催し、それらを講演集にまとめ刊行した。また、内国勧業博覧会にも特設運動場を設置したり、運動用具を出品したりと幅広い体育・運動競技への奨励策を展開していく。

明治四二（一九〇九）年に国際オリンピック委員に任せられた嘉納治五郎は、第五回ストックホルム・オリンピック大会に日本が参加するための選手選出母体は日本体育会であつた。結局、明治四四（一九一二）年に大日本体育協会を設立して別組織で行くことになるが、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックの開催に際し、オリンピック選手派遣の前史にも目を向け、どんな動きがあつたかを知ることは大会後のレガシー（遺産）を考える一助となるのではなかろうか。

第IV回 明治期体操学校 体育・体操書 全六巻

【第一回】 東京体操伝習所の体育・体操書
東京体操伝習所規則 等
東京体操伝習所／一八八八年

●リーランド著述、坪井玄道・幕内鏡太郎口授、島貫冉次郎筆記／一八八七年／東京体操伝習所
新式兵式教科書
●依田久太郎編／一八九二年／東京体操伝習所

【第二回】 日本体育会体操学校概要と体育・体操書(1)
日本体育会賛助会員ノ規約沿革又ハ推戴
名譽賛成員并ニ各賛助会員名簿
日本体育会／一八九三年

●日本体育会體操二閥スル内外諸大家ノ意見
日本体育会／一八九七年
●日本体育会大阪支会／一八九七年／日本体育会

【第三回】 日本体育会体操練習所規則 等
世界体育会綱領
日本体育会編／一八九九年

●堀越平三郎編／一九〇〇年／日本体育会
体育要領
瑞瑞典式体操
●川瀬元九郎編／一九〇一年／大日本図書

【第四回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(2)
内外名家 体育論集
日本体育会編／一九〇一年／大日本図書

●川瀬元九郎・川瀬富美子共編／一九〇一年／大日本図書
衛生美容術

【第五回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(4)
二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第六回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(5)
現代之諸名家 体育論
日本体育会編／一九一〇年／日本体育会
日本体育専門学校一覧
●日本体育会／一九四一年
●東京高等体育学校一覧
●東京高等体育学校／一九四二年

【第七回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(6)
体育研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十一世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第八回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(7)
体育原理全
日本体育会編／一九一〇年／日本体育会
日本体育専門学校一覧
●日本体育会／一九四一年
●東京高等体育学校一覧
●東京高等体育学校／一九四二年

【第九回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(8)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(9)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(10)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(11)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(12)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(13)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(14)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(15)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(16)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(17)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(18)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(19)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(20)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(21)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(22)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(23)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(24)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(25)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(26)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(27)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(28)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(29)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英舎

瑞瑞典式体操初步
●川瀬元九郎・手島儀太郎共編／一九〇六年／大日本図書

【第十回】 日本体育会体操学校の体育・体操書(30)
體操研究資料
●手島儀太郎編／一九〇三年／昌榮社
●二十世紀体育術
●川瀬元九郎／一九〇六年／内田老鶴園

●高島平三郎／一九〇四年／育英

体育・スポーツ書集成 シリーズ 民和文庫研究会編

第Ⅲ回 国民体力向上関係書 全八巻

尾川 翔大・矢野 裕介 解説

第一巻 厚生省の設置と業務

定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-012-0

第二巻 国民体力の向上施策 (1)

定価 10,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-013-7

第三巻 国民体力の向上施策 (2)

定価 14,800 円 (税別) ISBN 978-4-86670-014-4

第四巻 国民体力法

定価 12,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-015-1

第五巻 体力章検定

定価 16,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-016-8

第六巻 戦時下の体力向上策

定価 18,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-017-5

第七巻 戦争が学徒体位へ与えた影響

定価 15,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-018-2

第八巻 外地での体力向上策

定価 10,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-019-9

摘要定価 108,800 円 (税別) ISBN 978-4-86670-020-5

第Ⅳ回 明治期体操学校 体育・体操書 全六巻

神田 俊平 解説

第一巻 東京体操伝習所の体育・体操書

定価 8,500 円 (税別) ISBN 978-4-86670-021-2

第二巻 日本体育会体操学校概要と体育・体操書 (1)

定価 15,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-022-9

第三巻 日本体育会体操学校の体育・体操書 (2)

定価 16,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-023-6

第四巻 日本体育会体操学校の体育・体操書 (3)

定価 18,500 円 (税別) ISBN 978-4-86670-024-3

第五巻 日本体育会体操学校の体育・体操書 (4)

定価 16,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-025-0

第六巻 日本体育会体操学校の体育・体操書 (5)

定価 22,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-026-7

摘要定価 96,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-027-4

A5 判／上製函入／クロス装／C3337

第Ⅲ回 2018年 5月 25日刊行

第Ⅳ回 2018年 11月 25日刊行

体育・スポーツ書集成 好評既刊書

(定価はすべて税別)

第Ⅰ回 戦後保健体育指導書 全七巻

尾川 翔大 解説

第一巻 学校体育指導要綱

定価 12,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-976-0

第二巻 新小学校体育

定価 16,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-977-7

第三巻 新中学校体育

定価 14,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-978-4

第四巻 小中学校の保健教育

定価 13,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-979-1

第五巻 小学校体育の学習指導

定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-980-7

第六巻 中・高校体育の学習指導

定価 12,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-981-4

第七巻 学習指導要領—体育科編

定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-982-1

摘要定価 93,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-983-8

第Ⅱ回 戦後学校武道指導書 全五巻

矢野 裕介・坂本 太一 解説

第一巻 学校柔道 (1)

定価 17,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-984-5

第二巻 学校柔道 (2)、学校弓道

定価 15,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-985-2

第三巻 摶競技

定価 11,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-986-9

第四巻 学校剣道 (1)

定価 10,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-987-6

第五巻 学校剣道 (2)

定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-988-3

摘要定価 66,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-989-0

A5 判／上製函入／クロス装／C3337

第Ⅰ回 2017年 6月 25日刊行

第Ⅱ回 2017年 11月 25日刊行

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎ (03) 3808-1821 ☎ (03) 3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

 株式会社クレス出版

●書店名